

基本理念		基本目標	施策	取組
スポーツがはぐくむ 輝く埼玉	目標1 すべての県民にスポーツを ～誰もが生涯に渡る充実したスポーツライフを～	【指標1】週に1回以上スポーツをする成年の県民の割合 ・スポーツ・レクリエーション活動を週に1回以上する 成年の県民の割合（スポーツ実施率） <u>65.0%以上</u>	施策1 スポーツ実施率の低い女性、働く世代・子育て世代のスポーツ機会の充実	(1) 女性のライフステージに応じたスポーツの機会の提供 (2) 働く世代・子育て世代のライフスタイル、ニーズに応じたスポーツの機会の提供促進 (3) スポーツ科学を活用したスポーツ実施率の向上促進
		【指標2】子供のスポーツ意欲 ・中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を 持ちたいと思う県内中学2年生の割合 <u>85.0%以上</u>	施策2 子供・若者のスポーツ活動の充実	(1) 学校体育の充実 (2) 学校運動部活動の充実と地域クラブ活動への移行に向けた支援 (3) 地域におけるスポーツ活動の充実 (4) スポーツを通じた青少年の健全育成
		【指標3】パラスポーツの推進 ・彩の国ふれあいピックの参加者数 <u>4,500人以上</u>	施策3 パラスポーツの機会の充実	(1) 障害に応じたスポーツの機会の創出 (2) パラスポーツの推進
	目標2 多彩なスポーツの機会創出 ～県民一人一人がスポーツの価値を享受～	【指標4】スポーツを現地で観戦した割合 ・過去1年間に県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合 （プロ・アマ問わず）を実際に会場で観戦する機会があった県民の割合 <u>50.0%以上</u>	施策4 スポーツを通じた高齢者の健康増進・生きがいづくり	(1) 高齢者がスポーツに気軽に参加できる場や機会の充実 (2) 第38回全国健康福祉祭（ねりんピック）さいたま大会（仮称）の開催 (3) スポーツを通じた健康増進・健康長寿社会の実現
		【指標5】スポーツに関するボランティアに参加した割合 ・スポーツイベントやスポーツの指導への協力等、スポーツに 関するボランティア活動を行っている県民の割合 <u>10.0%以上</u>	施策5 スポーツを支える基盤づくり	(1) スポーツの機会を提供する多様な担い手の育成・連携推進 (2) スポーツを支える担い手が活躍する場の充実 (3) スポーツ・レクリエーションの場・施設の整備推進 (4) スポーツに関する情報発信の強化 (5) スポーツにおけるDXの推進
		【指標6】スポーツを楽しむことができる 多様な機会の創出	施策6	(1) 身近で気軽にスポーツに親しめる機会の充実 (2) 多彩なスポーツ大会、イベントの誘致・開催 (3) プロ・トップスポーツチーム等を身近に感じる機会の拡大
	目標3 県民に夢と希望を与える 埼玉トップアスリートの輩出 ～スポーツ先進県埼玉の更なる発展～	【指標7】アスリートの活躍（国内） ・国民体育大会（国民スポーツ大会）における天皇杯（男女総合成績） <u>3位以上</u>	施策7 スポーツ科学によるアスリート （パラアスリート含む）の競技力向上	(1) 競技スポーツ人口の拡大及びアスリートの発掘・育成・強化支援 (2) アスリートの競技力向上支援 (3) アスリートの競技継続支援 (4) プロ・トップスポーツチーム等と連携した支援の充実 (5) 支援体制の強化 (6) 屋内50m水泳場、スポーツ科学拠点施設の整備推進
		【指標8】アスリートの活躍（国際） ・国際大会における埼玉県ゆかりの選手の8位以上の 年間延べ入賞者数 <u>500人以上</u>	施策8 スポーツ・インテグリティ及び 安全・安心の確保	(1) スポーツ団体の組織力・ガバナンス強化 (2) スポーツ団体のコンプライアンスの徹底・スポーツにおけるハラスメントの防止 (3) スポーツ・インテグリティの促進・ドーピングの防止 (4) スポーツ事故・スポーツ障害の防止
		【指標9】プロトップスポーツチーム・トップアスリートとの 連携 ・プロ・トップスポーツチームやトップアスリートと県との 連携事業数 <u>72件以上</u>	施策9 スポーツを通じた共生社会の実現	(1) 女性の活躍 (2) パラスポーツの普及、裾野拡大 (3) 国際交流の促進
	目標4 社会におけるスポーツの力の発揮 ～スポーツを通じた活力のある社会の実現～	【指標10】プロトップスポーツチーム・トップアスリートとの 連携 ・プロ・トップスポーツチームやトップアスリートと県との 連携事業数 <u>72件以上</u>	施策10 スポーツを通じた地域の活性化	(1) スポーツを核とした魅力ある地域づくり (2) プロ・トップスポーツチームやトップアスリートとの連携・協働による地域振興 (3) スポーツの成長産業化

基本目標		施策
目標1 すべての県民にスポーツを ～誰もが生涯に渡る充実した スポーツライフを～		施策1 スポーツ実施率の低い女性、働く世代・子育て世代のスポーツ機会の充実施策 施策2 子供・若者のスポーツ活動の充実 施策3 パラスポーツの機会の充実 施策4 スポーツを通じた高齢者の健康増進・生きがいづくり

令和8年度事業概要	令和7年度の主な実績
多彩なスポーツイベントの開催58,315千円 (1) スポーツフェスティバルの開催12,776千円 ・県民総合スポーツ大会の開催支援のために助成金を交付 ・県民自由参加型のイベントとして、スポーツフェスティバルと彩の国ふれあいピック（埼玉県パラスポーツ大会秋季大会）を一体となって実施 (2) 埼玉県パラスポーツ大会の開催7,935千円 ・春季大会の開催（個人競技・全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねる） ・球技大会の開催（団体競技・全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねる） (3) 秩父宮杯自転車道路競走大会・埼玉県駅伝の開催4,740千円 ・広く県民がスポーツを「する」「みる」「ささえる」機会となる大会を開催	(1) スポーツフェスティバルの開催 ・スポーツフェスティバル2025in熊谷 令和7年10月5日（日） 体験者数のべ9,083人 (内訳) スポフェス4,385名 ふれあいピック4,698名 ・スポーツフェスティバル2026inけやきひろば 令和8年1月24日（土） 参加者570名 (2) 彩の国ふれあいピックの開催 ・彩の国ふれあいピック春季大会 参加者・役員：1,097名 ・彩の国ふれあいピック（秋季大会） 延べ体験者数：4,698名 ・彩の国ふれあいピック球技大会 参加者・役員：1,614名 (3) 秩父宮杯自転車道路競走大会・埼玉県駅伝の開催 ・秩父宮杯：令和7年9月14日（日） 参加者数：485人 ・埼玉県駅伝 中学校の部：令和7年11月8日（土） 一般等の部：令和8年2月1日（日） 参加チーム数：中学校の部：126チーム 一般等の部：111チーム

基本目標	施策
目標1 すべての県民にスポーツを ～誰もが生涯に渡る充実した スポーツライフを～	施策1 スポーツ実施率の低い女性、働く世代・子育て世代のスポーツ機会の充実施策 施策2 子供・若者のスポーツ活動の充実 施策3 パラスポーツの機会の充実 施策4 スポーツを通じた高齢者の健康増進・生きがいづくり

令和8年度事業概要	令和7年度の主な実績
-----------	------------

- (4) e スポーツイベントの開催 32,864千円
- 複数会場同時接続e スポーツ普及イベントの開催
- ・プロeスポーツプレイヤー等によるエキシビジョンマッチ
 - ・ビギナー向けeスポーツ体験会の開催
- 県内スポットのオリジナルコース、マップの制作
- ・VRサイクルアプリのオリジナルコースや人気e スポーツタイトルのオリジナルマップの作成
 - ・県民に馴染みのあるスポットを登場させるなど、初心者や未経験者がe スポーツを始めやすい、継続しやすいコンテンツを提供
- 市町村・民間企業向けeスポーツ活用セミナーの開催
- ・eスポーツの先進的な取組事例の紹介を通じ、ノウハウ伝授や意識啓発を図る
- 気軽にeスポーツを体験できる機会を提供
- ・県主催の既存スポーツイベント等においてeスポーツ体験会を実施
 - ・市町村や民間企業が実施する県内スポーツイベント等に体験ブースを出展し、eスポーツの賑わい創出や集客力といった効果を体感してもらう

- (4) e スポーツイベントの開催
- 4カ所会場同時接続eスポーツ普及イベント
(参加者8,354人、配信動画再生回数57,906回)
- ・eスポーツ大会
 - ・プロ選手らによるエキシビジョンマッチ
 - ・初心者向けeスポーツ体験会
 - ・市町村・企業関係者向け前日イベントの開催 (参加者76名)
- 県内スポットのオリジナルコース、マップ
- ・バーチャルサイクリングのオリジナルコース制作 (県内5カ所 (所沢・川越・熊谷・草加・行田))
 - ・フォートナイトのオリジナルマップ制作 (深谷)
- 気軽にeスポーツを体験できる機会を提供
- ・埼玉サマーウィーク2025 (参加者：215名)
 - ・スポーツフェスティバル2025in熊谷 (参加者：327名)
 - ・彩の国いきいきフェスティバル2026 (参加者：225名)
 - ・県庁オープンデー (参加者：614名)



基本目標

施策

目標2
多彩なスポーツの機会創出
～県民一人一人がスポーツの価値を享受～

- 施策5 スポーツを支える基盤づくり
- 施策6 スポーツを楽しむことができる多様な機会の創出

令和8年度事業概要

令和7年度の主な実績

- スポーツ施設の整備推進 9,868,478千円**
- (1) 屋内50m水泳場の整備 9,801,876千円
 - ・ 屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理 9,784,081千円
屋内50m水泳場の整備、運営・維持管理（PFI事業）に係る事業者への対価
 - ・ PFI事業のモニタリング 17,795千円
建設工事の実施状況や、事業者の経営状況のモニタリングを適正に行うため、専門的な知識、ノウハウ、経験等を有するコンサルタントに支援業務を委託
 - (2) スポーツ科学拠点施設の整備 66,602千円
 - ・ 「競技力向上施設と体育館」の整備に係る業務委託 37,180千円
事業の円滑な実施を図るため、令和9年度の公募実施に向け必要となる要求水準書の作成などを行うに当たり、専門的な知識・経験等を有する事業者にはアドバイザー業務を委託
 - ・ 「競技力向上施設と体育館以外の施設」の整備に係る業務委託 28,248千円
「競技力向上施設と体育館以外の施設」の整備に向け、事業区域のゾーニング（区画分割・園路の配置等）について検討を行うに当たり、専門的な知識・経験等を有する事業者にはアドバイザー業務を委託
 - ・ スポーツ科学拠点施設の整備に向けた検討・推進 1,174千円
スポーツ科学拠点施設の円滑な整備のため、先行事例の調査等を実施

- (1) 屋内50m水泳場の整備
月2回の会議等を通じて事業者と建設業務に関する協議を行うとともにモニタリングを実施
令和9年3月の竣工に向けて建設工事の進捗管理を実施
開業に向けて営業時間や利用料金などを定める設置管理条例を制定
- (2) スポーツ科学拠点施設の整備
スポーツ科学拠点施設のうち、競技力向上施設と体育館に係る基本計画の改定を実施
その他施設の整備に係るサウンディング調査における検討結果の取りまとめを実施
- (3) 県立武道館の大規模改修
長期保全計画に基づき、各道場の床張替や照明のLED化等、内装や設備の大規模改修工事を実施（工期：令和6年9月2日（月）～令和7年7月31日（木））
令和7年8月1日リニューアルオープン

基本目標	施策
目標2 多彩なスポーツの機会創出 ～県民一人一人がスポーツの価値を享受～	施策5 スポーツを支える基盤づくり 施策6 スポーツを楽しむことができる多様な機会の創出

令和8年度事業概要

スポーツに関する情報発信の強化 **21,747千円**
スポーツチーム観戦・応援WEBアプリ「すぽったま！」により、
県内スポーツチームの情報を一元的に発信し、試合観戦を促進

- (掲載情報)
県内スポーツチームのニュース、試合情報、お得なチケット情報、
試合会場アクセス情報、チームにゆかりの飲食店情報等
- ・チームや選手、現地観戦の魅力を発信するオリジナルコンテンツを充実させ、プッシュ通知で幅広い層にPR
 - ・「知事杯」など女子スポーツの振興に資する特集の実施
 - ・現地試合観戦でポイントをためて、サイン入りグッズなど素敵な賞品に応募できるスマホスタンプラリーを実施
 - ・チームと協力し、試合観戦チケットプレゼントなどのキャンペーンを実施
 - ・県内で開催される国際試合や代表戦を「すぽったま！」で発信することで当該試合への興味・関心を喚起
 - ・チームと協力し、試合前後に試合会場で競技体験会等を実施



すぽったま！



試合観戦チケットプレゼントの例

令和7年度の主な実績

- スポーツに関する情報発信の強化
WEBアプリ「すぽったま！」の運用
- ・ユニークユーザー数
143,841人 (3月9日現在)
 - ・参加チーム数
13競技29チーム (2月20日現在)
 - ・選手インタビュー記事の掲載
10チーム20本 (3月9日現在)
 - ・チームコラボ企画実施
8チーム14件 (3月9日現在)
- スマホスタンプラリーの実施
- ・実施期間
令和7年8月29日～令和8年3月1日
 - ・スタンプラリー対象チーム
18チーム
 - ・参加者数
9,453人 (3月1日現在)

多彩なスポーツイベントの開催 **58,315千円 (再掲)**

基本目標

目標3
県民に夢と希望を与える
埼玉トップアスリートの輩出
～スポーツ先進県埼玉の更なる発展～

施策

- 施策7 スポーツ科学によるアスリート（パラアスリート含む）の競技力向上
- 施策8 スポーツ・インテグリティ及び安全・安心の確保

令和8年度事業概要

アスリートの競技力向上支援 61,444千円
スポーツ科学を活用したトップアスリート輩出・支援事業
・県ゆかりのアスリートが健常者・障害者ともに、国内主要大会・国際大会において活躍するために、スポーツ科学を活用した発掘・育成から強化支援まで一貫したサポート体制を整備

項目	内容
発掘・育成	【健常者】年代に応じた発掘・育成を実施 ➢小学生：多様な競技体験等により競技特性の発見 ➢中学生：競技別専門トレーニングの実施 【障害者】障害種別に応じた発掘・育成を実施 ➢体験会・測定会による競技とのマッチング ➢発掘した人材を競技団体等で育成
強化支援	強化指定選手に認定し、スポーツ科学を活用した専門家によるサポート等を実施
その他	強化指定選手の認定証交付式や練習会などを健常者・障害者合同で開催することにより、選手間のモチベーション向上、交流機会の創出



強化指定選手の
認定証交付式



強化指定選手



競技別
専門トレーニング



専門家による個別指導

スポーツ施設の整備推進 9,868,478千円（再掲）

令和7年度の主な実績

- 発掘
 - ・プラチナキッズ
対象：小学4年生 合格者：45名（倍率：17.3倍）
 - ・プラチナジュニア
対象：小学6年生、中学1・2年生 合格者：32名（倍率：9.6倍）
 - ・プラチナエース発掘のための競技体験会・体力測定会
対象：特別支援学校等の児童・生徒及びリハビリテーションセンター利用者等（先天性の障害だけでなく中途障害も含め広く募集）（計31名）
- 育成
 - ・プラチナキッズ（小学5・6年生74名）：多様な競技体験等
 - ・プラチナジュニア（中学1～3年生52名）：競技専門トレーニング等
 - ・プラチナエース（9名）：県内競技団体の育成活動を支援等（将来活躍が期待される能力の高い選手）
- 強化
 - ・プラチナアスリート 強化指定選手に指定（健常者33名、障害者25名）スポーツ科学を活用した専門家によるサポート
- 合同開催
 - ・プラチナキッズ・ジュニア・アスリートの認定証交付式
 - ・健常者障害者アスリートの合同練習会（陸上競技）
- 競技継続
 - ・競技継続のための就職サポート
選手登録8名 企業登録5社 マッチング 9件（採用3件）

基本目標

施策

目標4
社会におけるスポーツの力の発揮
～スポーツを通じた活力のある社会の実現～

施策9 スポーツを通じた共生社会の実現
施策10 スポーツを通じた地域の活性化

令和8年度事業概要

令和7年度の主な実績

共生社会の実現に向けた取組 43,403千円（一部再掲）

- (1) 女性の活躍
スポーツに関する情報発信の強化 21,747千円（再掲）
・「知事杯」など女子スポーツの振興に資する特別企画を実施（再掲）
- (2) パラスポーツの普及、裾野拡大 21,656千円（一部再掲）
パラスポーツが身近になる環境づくり事業費 8,454千円
・ パラスポーツイベントの開催（ボッチャ交流大会等）
・ 県内学校を対象としたパラスポーツの体験・交流会の開催
・ パラスポーツ活動団体への補助
彩の国ふれあいピック等開催費 13,202千円（一部再掲）
・ 彩の国ふれあいピックの開催（再掲）
・ 地域のパラスポーツ指導員等の育成

スポーツを通じた地域の活性化の取組 9,948,540千円（再掲）

- 多彩なスポーツイベントの開催 58,315千円（再掲）
- スポーツ施設の整備推進 9,868,478千円（再掲）
- スポーツに関する情報発信の強化 21,747千円（再掲）

- (1) 女性の活躍（WEリーグと連携した埼玉女子サッカー気運醸成事業）
・ チームバス見学等イベント開催（浦和L）
・ 親子サッカー教室開催（RB大宮）
・ ピッチ体験等イベント開催（EL埼玉）
- (2) パラスポーツの普及、裾野拡大
・ パラスポーツイベントの開催
（ボッチャ交流大会：予選1,558名、当日予選113名）
・ 県内学校を対象としたパラスポーツの体験・講演会の開催
（小中学校：16校、高校大学：3校）
・ パラスポーツ活動団体への補助
（団体数：10団体）
・ パラスポーツ用具の貸出